

図書館 通信

豊かな時間を図書館で



画：長田 清（登別美術協会）

デジタル分館
QRコード



令和7年(2025年)

1月号

第524号(第43巻第10号)

目次

P1 ご挨拶・施設のご案内 P2 行事のお知らせ・図書館カレンダー
P3 事業の報告と展示のお知らせ・ご寄付の報告 P4 市民のひろば
P5 職員コラム P6 アーニス分館だより・職員おすすめ本
P7 今月の新着おすすめ本 P8~P12 新着図書案内

編集・発行 登別市立図書館

図書館WEBサイトQRコード



〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

電話(0143)85-4324 FAX(0143)85-4325

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

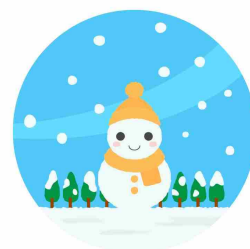
2025年 迎春

日頃より登別市立図書館をご利用いただき、
ありがとうございます。
これからもより良い図書館づくりに
職員一同努めてまいります。
本年もよろしくお願いたします。



本の水濡れにご注意ください

雨や雪で本が濡れて変形すると乾いても元に戻りません。
ビニール袋やカバンに入れるなど、
本の持ち運びにお気を付けください。



図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別港町1-4-9	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	平日 83-1131 土日祝 50-6602	85-4324
休館日	月曜・祝日・年末年始 毎月最終金曜	木曜・年末年始 毎月最終金曜	年末年始のみ		日曜・月曜 祝日・年末年始
開館時間	10:00~18:00	10:00~20:00	9:00~17:30 (昼休みあり)	9:00~17:30	巡回表のとおり

映画会

※会場は図書館3階会議室です。入場無料、申込は不要です。

1/11(土)15時
こども映画会

「くまのがっこう」(約30分)

◎人気絵本「くまのがっこう」シリーズのお話を上映します。山の上の寄宿舎で暮らすくまの子たちの日常を描いたお話です。

※来月は「三ねん寝太郎」を上映します。



1/12(日)13時30分
アフタヌーンシアター

「綾小路きみまろ爆笑!最新ライブ名演集」(約60分)

◎ノンストップでリズムよく繰り出されるライブステージの名演集です。新年の始まりを、爆笑ネタでお楽しみください。

※来月は「そして父になる」を上映します。



おはなし会

※会場は①アーニス分館、②③図書館1階えほんのへやです。
入場無料、申込は不要です。

①デジタル分館おはなし会(電子絵本や電子紙芝居の読み聞かせ)

日時 1月5日(日)14時より

← 今月は日曜日です!

②えほんのへやのおはなしかい(絵本や紙芝居の読み聞かせ)

日時 1月11日(土)14時より ※毎月第2土曜日

③おはなしぽけっと(絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアター)

日時 1月25日(土)11時より ※毎月第4土曜日



図書館カレンダー 令和7年(2025年)1月

日	月	火	水	木	金	土
			1 年末年始休館	2 全館(1/3まで) →	3	4
5 デジタルお話し会	6 本館休館日	7	8	9 ブックスタート 分館休館日	10	11 ライブリリーススタート おはなし会 こども映画会
12 アフタヌーン シアター	13 成人の日 本館休館日	14 祝日振替 本館休館日	15	16 分館休館日	17	18
19	20 本館休館日	21	22	23 分館休館日	24	25 おはなしぽけっと
26	27 本館休館日	28	29	30 分館休館日	31 図書整理日 本館休館日 分館休館日	2/1 デジタルお話し会

『クリスマス工作 とびだす！ポップアップクリスマス カードをつくろう』を開催しました

2024年12月7日（土）図書館3階会議室にて
クリスマス工作を行い、年中さんから小学4年生まで
10名のお子様に参加しました。

今年のご兄弟やお友達同士での参加もあり、にぎやかな
雰囲気での工作会となりました。

今年の工作は、カードを開くとサンタクロースと
雪だるまが飛び出し、閉じると隠れる“しかけ”付き
「ポップアップクリスマスカード」作りに挑戦しました。

色画用紙で作るギザギザのもみの木やしかけの細かい
部分など、はさみで切るのがちょっと難しそうなど
ころもありましたが、みなさん上手に切っていました。

用意したパーツをのりや両面テープでカードに貼り

付けて飛び出すしかけを作成し、最後にカラフルなペンでメッセージを書いたり、キラ
キラのシールやクリスマス模様のマスキングテープでたくさんの飾り付けをしたりと、
いろんな工夫をして素敵なクリスマスカードが出来上がりました。



1階ロビー展示

「三かいめ」の油絵三人展～たのしくつづけています～

油絵教室講師 高木三千子さん主催の、大人二人と
小学6年生一人による三回目の油絵の展示を行います。

展示期間 2月1日(土)10時～
9日(日)15時



前回の展示の様子

ご寄付の報告

12月4日(水)、新和産業株式会社様から図書購入費のご寄付を頂きました。

同社の未来・学習・喜びをテーマとした「伊達直人プロジェクト」により、平成28年から継続的にご
寄付を賜っており、今回で8回目となりました。購入冊数は累計で100冊を超える見通しとなり、
図書の充実を活用させて頂いております。継続的なご寄付に改めて御礼申し上げます。

どうもありがとうございました。

-「運命」の終わり方-

詩人谷川俊太郎が逝去されました。九十二才でした。各紙はこぞって、このことを紹介しています。朝日は一面トップ記事、道新は「ジャンルを超えた異端児」の見出しで。彼はまさに、ことばの伝道師だったと思います。

詩は「わかるより感じるもの」と思っているながら、どうも散文のように接することができません。それでも宮沢賢治、まどみちお、黒田三郎、茨木のり子などの作品には、この頃でも好きな詩を見つけます。

谷川の散文は、比較的読んできたと思っています。『ことばを中心に』（草思社・発行）には、「詩は散文と同じように、意味にとらわれているものだけど、通常の意味を超えようとするところが、散文と違う」、「散文が言葉の正確さをめざすものとすれば、詩は言葉の楽しみをめざすものと考えている」。彼のやさしい、そして深いことばから、「いま」や「いのち」の大切さを見直しました。なのになぜか、そしていつからか、詩への無用なこだわりが枷となって、自分を窮屈にしています。

『「ん」まであるく』（草思社／発行）では、谷川はベートーベンの「運命」について触れています。「たしかに名曲だが、あのおわり方だけはいつ聞いても、少々てれくさい」「落差の激しいのは、かえってうそくさくて…」。また「人間にとっての唯一のほんとうの終わりである死についても、私はあまりぎょうぎょうしいのはうそじゃないかと思っている。落葉が土に帰るように死にたいものだが…」。歌手中島みゆきは、「本当に星になっちゃった。でも、星は消えないですから」、惜別のことばです。

快哉、なつかしい遠景が誘引されました。それは中学生のときです。自習時間になると、学級担任の吉沢一先生(数学)は、みんなを音楽室へ引率して、自分のレコードを聴かせてくれました。それはベートーベンの「運命」だったり、ガーシュインの「大溪谷」だったりでした。突然「ダダダダーン…」とか「タッタタ・タッタ…」など、はじめて接する奇妙な旋律に、ただ戸惑いました。水を打ったような、それは長い忍耐の時間でした。いたましい時間、もう反省や感謝が届かないのですから。

一学年下に、長身の竹沢勝昭君がいました。当時父と、彼の父君は同じ職場でした。竹沢君は角界へ入門(しこ名は竹沢→竹美山)、第五十二代横綱になりました。優勝十回の北の富士です。引退後は親方そしてTV解説者として、懐かしい顔を見せてくれました。

詩人と横綱、ともに山の高みをかけ抜けて行きました。合掌。





タイトル一本釣り

本を選ぶ基準は人それぞれ様々です。本のジャンルや内容は勿論の事、著者や本の表紙、本の帯などのほか、タイトルが決め手になる人も多いのではないのでしょうか。多くの本が出版される昨今では、書店やネット通販のサイト、この図書館通信などでも新刊一覧では本のタイトル・著者・出版社のみが記載されていることがほとんどです。そのような限られた情報の中で本を手にとってもらえるよう、なんだか気になる・どこか引っかかるようなタイトルになるようどの本も工夫が凝らされています。

『ネーミングの極意』弓削徹／著(明日香出版社発行)を見ると本に限らず、何かを選んでもらう際にはネーミングが占める割合が9割だとあります。本書に書かれたネーミングを変えて成功した商品の一例を挙げると、『ストリングチーズ』は『さけるチーズ』、『豆ダツシュ』は『チヨ口Q』など改名後の名前だとよく知っている商品が多数あります。本も同じように出版時にタイトルが変更になることがあります。

『無縁の常闇に嘘は香る』(下村敦史／著)は全盲の主人公・和久が自分の兄は偽物なのではないかと疑惑を持ち、その正体に迫るミステリー作品で第60回江戸川乱歩賞受賞しました。

内容は大変好評だったにもかかわらず、選考委員である桐野夏生や石田衣良、今野敏らから「タイトルが意味不明・タイトルを変更した方がいい」と講評時に本の内容ではなく作品のタイトルに対して散々に言われています。出版にあたり『闇に香る嘘』(講談社発行)と改題されて出版されました。改題によってより覚えやすく、より謎めいたタイトルになった気がしませんか。(本書に講評も合わせて収録されています。)



『自殺の国』柳美里／著(河出書房新社発行)は「死」に魅せられた女子高生が品川駅発の列車に乗ってネットを通じて出会った“彼ら”との約束された場所に向かう…というあらすじの小説です。この本は最初に発行されたハードカバー時のタイトル『自殺の国』から文庫化にあたり『まちあわせ』に改題、また文庫の新装版が出版される際に『JR 品川駅高輪口』と更に改題されています。繰り返される改題を見ると、タイトルという限られた情報の中でより内容が伝わりやすく、気になってもらえるようにと考えられているのがわかります。

何故このタイトルになったのかを本を読んだ後に考えてみるのも、読書の楽しみの一つかもしれません。





アーニス分館だより



今月は第1日曜日に開催!

デジタル分館おはなし会

日時 1月5日(日)14時~(30分ほど)

場所 アーニス分館 閲覧室

今月は『天福地福』など。

大きなスクリーンで迫力ある映像をお楽しみください。



イベントのご報告!

11月30日(土)に「クリスマスカレンダーをつくろう!」を開催しました。9組21名の皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。

今回は折紙と色紙で、サンタクロースとトナカイと雪だるまのクリスマスファンのカレンダーを作りました。まずは折紙を4枚ずつジャバラ折りにして、色紙のパーツを貼ってクリスマスファンを仕上げました。手分けして協力したり、1人で集中してがんばったりしながら、カラフルなデコレーションをして、楽しいオリジナルカレンダーとなりました。



わたしのおすすめ本

今月の担当者 川色濃

「MINIATURE TRIP IN JAPAN」

田中 達也/著 小学館/発行

「見立て」とはあまり聞かない言葉かもしれませんが広辞苑によると「芸術表現の一技法。対象を性質の似た他のものになぞらえて表現すること。」とありました。石と樹木と砂で、海や波、海に浮かぶ島々を表している「枯山水」に代表されているものです。そのため「見立て」に多少は馴染みがあるのではないのでしょうか。

本書は身の回りにある日用品にミニチュア人形などを組み合わせて、日本の四季や風物に関するものを見立てた作品集です。茶畑を蚊取り線香で見立てた茶摘みの様子、稲刈りをブラシで、将棋盤をキャラメルでなど、日用品というだけあり、どれも見たことのあるものばかりが使われています。作品名もダジャレのようで

「茶取り線香」「田舎ぶらし」「勝負をあきやらめるな」など楽しくなるようなものが多いです。作品名を見るだけでどんな日用品を使っているのか、どんな作品なのかを想像するのも楽しみ方の一つだと思います。どのページから見てもよく、想像する楽しさを思い出させてくれるような一冊だと思います。

同じ著者の「MINIATURE TRIP AROUND THE WORLD」も発行されており、こちらは世界中の様々な風景や物、食べ物の見立てを扱っていて、こちらもおすすめです。



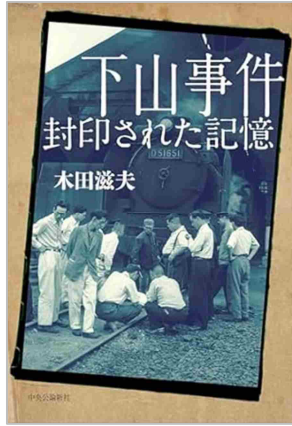
今月のおすすめ本 ～新着図書案内から～

「下山事件 封印された記憶」

木田 滋夫／著

中央公論新社／発行

1949年、初代国鉄総裁・下山定則が、常磐線の線路上で轢断遺体で見つかった未解決事件「下山事件」。「戦後史最大のミステリー」と称され今なお語り継がれる下山事件を20年にわたって取材を続けてきた新聞記者が、新発掘の事実に基づき再考する。



「DIY でつくる収納」

デッドスペース&押し入れ活用術

玉井 香織／著

ナツメ社／発行

デッドスペースを見つけたら収納のチャンス！

サイズをぴったり合わせた収納家具の作り方を初級・中級・上級に分けて紹介。押し入れ活用法や、安全にDIYを楽しむための基本テクニックも解説する。



「富士山」

平野 啓一郎／著

新潮社／発行

あり得たかもしれない人生の中で、なぜ、この人生だったのか？人から人へと感染を繰り返す「ストレス」の連鎖。それを断ち切った、一人の小さな英雄の物語「ストレス・リレー」など生きていく私たちに、かすかな光を与える全5篇の短篇集。



「街角ファンタジア」

村山 早紀／著

実業之日本社／発行

世界は「優しい奇跡」に満ちている…。

失恋したての青年、亡き祖父を想う少女、行き詰まったイヤミス作家、不器用な本好きの少年、未来が不安な女性ライター…。街の片隅で暮らす人々それぞれの心の傷が癒やされていく全5話の短編集。



デジタル分館おすすめ本

「働く人の疲れをリセットする

快眠アイデア大全

誰にでも効く光×体温×脳のアプローチ」

菅原 洋平／著 翔泳社／発行

カーテンを開けて眠る、枕元にアロマオイルを1滴たらす、炭水化物を最後に食べる、夜に映画を見て思い切り泣く…。様々な睡眠の悩みを解消し、ぐっすり眠れるようになる快眠アイデア集。



デジタル分館は登別市発行の利用者カードをお持ちか、室蘭・伊達市発行の利用者カードをお持ちで登別市に居住の方はどなたでもご利用いただけます。

詳しくはホームページをご覧ください。職員までお尋ねください。

新 着 図 書 案 内 令和7年1月 No.1

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷲:鷲別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
0 総記				狂人たちの世界一周	ピーター・ニコルス
鷲	● おとなの大ピンチ図鑑 おしごと編	おとなの大ピンチ研究会		動物と自然に感動する地図帖	マイク・ヒギンズ
	図書館員が知りたい著作権80問	日本図書館協会著作権委員会		Y字路はなぜ生まれるのか?	重永 瞬
	外国語を届ける書店	白水社編集部		東京、なのに島ぐらし	寺田 直子
	記者と官僚 特ダネの極意、情報操作の流儀	佐藤 優 西村 陽一		潮来を、なぜイタコと読むのか	筒井 功
				● 「幸せ」を背負って 積雪期単独北海道分水嶺縦断記	野村 良太
			車	● 身辺整理 死ぬまでにやること	森永 卓郎
				楽しく学べるはにわ図鑑	かみゆ歴史編集部 朝日新聞出版
				聖と俗 対話による宮台真司クロニクル	宮台 真司 近田 春夫
				全国“野湯”100選	瀬戸 圭祐
1 哲学・宗教				街中の遺構からたどる歴史都市ロンドン	ジャック・チェジャー
	宗教の日本史	本郷 和人	ア	地球の歩き方 2025~26 D11 台北	地球の歩き方編集室
車	愛のモヤモヤ相談室	美輪 明宏	ア	るるぶ冬の北海道 '25	JTB パブリッシング
	その絶望感って、本当は心のまぼろしじゃない? 死とは何か 宗教が挑んできた人生最後の謎	ばやばやくん 中村 圭志			
車	自己否定をやめるための100日間ドリル	坂口 恭平			
	● 日本狒犬大全	荒 勝俊			
					
2 歴史・地理					
	日帰りで登れる温泉百名山	飯出 敏夫	車	この一冊で安心葬儀とお墓のハンドブック	吉川 美津子監修
	昭和問答	田中 優子 松岡 正剛		● 沸騰大陸	三浦 英之
	● 象徴天皇の実像 「昭和天皇拝謁記」を読む	原 武史		遺言 絶望の日本を生き抜くために	森永 卓郎 岸 博幸
ア	江戸時代の暮らしと文化の絵事典 一冊でつかむ江戸の町と暮らし ビジュアル版	安藤 優一郎監修		刑務所ごはん	汪 楠・ほんにかえるプロジェクト
車	はにわのヒミツ	河野 正訓 山本 亮		イスラム移民	飯山 陽
車	馬と土に生きる 改装版	石川 咲枝		抱え込まない子育て	根ヶ山 光一
鷲	● あの世でも仲良く暮らそうや	信友 直子		論理的思考とは何か	渡邊 雅子
	女たちの平安後期 紫式部から源平までの200年	榎村 寛之	車	最新アイヌ学がわかる	佐々木 史郎監修・北原モコットウナン監修
ア	ヤマザキマリの世界逍遥録 2	ヤマザキ マリ		世界の中華料理	川口 幸大
	加耶/任那 古代朝鮮に倭の拠点はあったか	仁藤 敦史		母親になって後悔してる、といえたなら	高橋 歩唯 依田 真由美
	鳶屋重三郎 江戸の反骨メディア王	増田 晶文		知っているようで知らない物価のしくみ イラスト図解	斎藤 太郎監修 木下 知博監修
				● 就職氷河期世代	近藤 絢子
				盲導犬との絆、静かな感動	全日本盲導犬使用者の会

新 着 図 書 案 内 令和7年1月 No.2

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷺:鷺別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者	
	北朝鮮の食卓	キム ヤンヒ		4 自然科学・医学		
	山の道 新装版	宮本 常一		「科学・技術の歴史」が一冊でまるごとわかる	白鳥 敬	
	家の神さま 民間信仰にみる神と仏	鶴岡 幸彦		医学問答 西洋と東洋から考えるからだと病気と健康のこと	仲野 徹 若林 理砂	
	昔話「力太郎」ユーラシアを翔ける	斧原 孝守		思春期の子の「うつ」がよくわかる本	船渡川 智之監修	
ア	女の子に生まれたこと、後悔してほしくないから	犬山 紙子		認知症は病気ではない	奥野 修司	
	● ロールモデルがない君へ	キリーロバ・ナージャ		整形外科医のカラダの痛み相談室	井尻 慎一郎	
	江戸の犯罪録 長崎奉行「犯科帳」を読む	松尾 晋一	車	花と暦を楽しむ366日	森乃 おと	
	それってあなたの感想ですよ	物江 潤	車	クマはなぜ人里に出てきたのか	永幡 嘉之	
	吉原遊廓 遊女と客の人間模様	高木 まどか	車	更年期と自律神経のセルフケアBOOK	扶桑社	
ア	50代ひとりでも一生お金に困らない「手に職」選び	高村 祐規子		70歳からの「寝る前30秒ストレッチ」	白濱 龍太郎	
鷺	戸籍のことならこの1冊 第6版	石原 豊昭ほか		風呂と愛国	川端 美季	
車	1日1分読むだけで身につく保険の選び方大全100	長尾 義弘		すぐやる脳	菅原 道仁	
鷺	● 目の見えない精神科医が、見えなくなって分かったこと	福場 将太		自分を傷つけることで生きてきた	村松 英之	
鷺	ふろしきがある暮らし	滝野 朝美		0歳から100歳までのこれからの「歯の教科書」	多保 学	
	下山事件 封印された記憶	木田 滋夫	車	専門医が教える1分で肝臓から脂肪が落ちる食べ方決定版	尾形 哲	
	コンサルタントが毎日見ている経済データ30	小宮 一慶	車	名医に聞く「前立腺がん」の最新治療	小路 直	
	マイナーな感情	キャシー・パーク・ホン		中学数学で解く大学入試問題	杉山 博宣	
	金利を考える	翁 邦雄		宇宙が見える数学	小笠 英志	
	異次元緩和の罪と罰	山本 謙三		争いばかりの人間たちへ	山極 寿一	
	ぼっちのままで居場所を見つける	河野 真太郎		私たちは売りたいくない!	チームK	
	フィールドワークってなんだろう	金菱 清		さよなら、産後うつ	村上 寛	
	ホワイトカラー消滅	富山 和彦		30秒で体力がつくスゴイもも上げ	吉原 潔	
	● 婦人相談員物語	村本 邦子 松本 周子		● なぜ彗星は夜空に長い尾をひくのか	渡部 潤一	
ア	大江戸24時 浮世絵で庶民ライフを物見遊山	堀口 茉純		● 異界の歩き方	村澤 和多里 村澤 真保呂	
				5 技術・工業・家事		
					日本のおむすび	菅本 香菜
				ア	ふっくらかわいいリフ編みのこもの改訂版	岡本 啓子監修
				ア	肉の作りおき	橋本 彩子
				車	フライパン蒸し煮	若山 曜子
				車	燻製大全	服部 弘
					● 北海道建築	荒井 宏明
				ア	風工房のユニセックスニット	風工房
				ア	あるもので! 10分で! 500品	倉橋 利江



新 着 図 書 案 内 令和7年1月 No.3

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷲:鷲別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
5 技術・工業・家事			7 芸術・スポーツ		
ア	47都道府県、おいしいもの図鑑。	マガジンハウス	ア	60歳からの筋トレ入門 新装版	ソネ ジュンコ
鷲	もっと好きになるガラスペンとインクの本	武田 健	車	● 柚木麻子のドラマななめ読み!	柚木 麻子
鷲	DIYでつくる収納	玉井 香織	車	巨人軍vs. 落合博満	中溝 康隆
車	ワタナベマキのサツと蒸し、ほっこり蒸し	ワタナベ マキ	鷲	山岳セルフレスキュー教本 完全図解	笹倉 孝昭
ア	図解まるわかりVR・AR・MRのしくみ	monoAtechnology株式会社	登	軽バン生活 自作DIYで1200日の車中泊	軽バン生活
ア	童話みたいなあみぐるみ	日本文芸社		● 西洋絵画のお約束 カラー版	中野 京子
ア	スープジャーとおにぎり弁当	しらい のりこ		● 高倉健の愛した食卓	小田 貴月
ア	塩クッキーとケーキ	加藤 里名	<p>「軽バン生活 自作DIYで1200日の車中泊」 軽バン生活／著 玄光社／発行</p> <p>車内・外装をフルDIYした軽バンで車中泊をしながら日本一周中のはやと・あかね。軽バンDIYの順序や工夫、車生活の暮らし方、お金のコト、思い出に残る観光スポット・銭湯・グルメ、車中飯レシピなどを写真とともに紹介する。</p> 		
鷲	ミシンで着物 新装版	やまもと ゆみ			
車	いちばんやさしい「デニムリメイク」	Patch-Work-Life			
車	5本指手ぶくろの教科書	ミカ ユカ			
車	おうちごはんは日々のくりかえし。	有賀 薫			
鷲	三國流おうちでつくる極上スープ	三國 清三			
鷲	ごはんが楽しみ	井田 千秋			
車	世界のおやつ図鑑	佐藤 政人			
	ごみ収集の知られざる世界	藤井 誠一郎			
	● 灯台を読む	門井 慶喜ほか			
ア	ごくごく飲みほすだしの本	吉田 麻子			
ア	● 日本ご当地おかず大全	菅原 佳己			
	手づくりドレッシング	神成 マサヨ			
ア	ぐるぐる編めばできるウォーマーから手袋まで	越膳 夕香			
ア	救世主レシピ 大さじ小さじで味を決める	牧野 直子			
6 産業・商業			8 言語		
ア	プランターで育てるぐるぐる自然菜園	竹内 孝功	車	● 訳して、書いて、楽しんで	村井 理子
ア	● 全国ローカルコンビニグルメ図鑑	加藤 弘倫		言葉なんていらない? 私と世界のあいだ	古田 徹也
鷲	わたしの農継ぎ	高橋 久美子		部首の誕生 漢字がうつす古代中国	落合 淳思
鷲	岩合光昭ニッポン看板猫	岩合 光昭			
車	知っておきたい75歳からの免許更新	浦上 克哉監修			
車	新幹線60年の変遷	レイルウエイズグラフィック			
	日本の果物はすごい 戦国から現代、世を動かした魅惑の味わい	竹下 大学			
	新紅葉ハンドブック	林 将之			
	羽田と成田 二つの首都圏空港が辿った道	前田 隆平			

新 着 図 書 案 内 令和7年1月 No.4

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷲:鷲別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
913 日本の小説				時間の虹(紅雲町珈琲屋こよみ 12)	吉永 南央
車	デートピア	安堂 ホセ		五木寛之セレクション 5 恋愛小説集	五木 寛之
車	五葉のまつり	今村 翔吾		愛ちゃんのモテる人生	宇井 彩野
車	日比野豆腐店	小野寺 史宜		その殺人、本格ミステリにさせません。	片岡 翔
登	秘色の契り 阿波宝暦明和の変顛未譚	木下 昌輝		すべての愛しきLifeへ	くすのき しげのり
登	推しはまだ生きているか	人間六度		● また団地のふたり	藤野 千夜
鷲	街角ファンタジア	村山 早紀		ヌートリア 三木卓単行本未収録作品集	三木 卓
鷲	娘剣士守りて候	三咲 光郎	鷲	死念山葬	朝倉 宏景
	● 恋とか愛とかやさしさなら	一穂 ミチ	車	サリエリはクラスメイトを二度殺す	額賀 滯
	その時鐘は鳴り響く	宇佐美 まこと	車	真珠王の娘	藤本 ひとみ
	● 夜刑事	大沢 在昌	鷲	● 罪名、一万年愛す	吉田 修一
	司馬炎 三国志を終わらせた男	塚本 青史		モウ半分、クダサイ	愛川 晶
	うそコンシェルジュ	津村 記久子		● 赤ずきん、アラビアンナイトで死体と 出会う。	青柳 碧人
	● 架空犯	東野 圭吾		だめになった僕	井上 荒野
	中山民俗学探偵譚	柳川 一		赤羽せんべろまねき猫	坂井 希久子
	誘拐ジャパン	横関 大		ここでは言葉が死を招く	嶋中 潤
	鎌倉幽世八景	藤沢 周		● 虚の伽藍	月村 了衛
ア	百年かぞえ歌	大崎 梢		● 富士山	平野 啓一郎
車	若親分、起つ 目明かし常吉の神楽坂捕物帖	伍代 圭佑		● 気の毒ばたらき(きたきた捕物帖 3)	宮部 みゆき
車	PIT特殊心理捜査班・蒼井俊	五十嵐 貴久		夢の上 翠輝晶・蒼輝晶 1・2	多崎 礼
車	白紙を歩く	鯨井 あめ	車	あの夏が飽和する。	カンザキ イオリ
鷲	メントラブドール	市街地ギャオ	車	冷たい恋と雪の密室	綾崎 隼
車	● 婚活マエストロ	宮島 未奈	鷲	飽くなき地景	萩堂 顕
車	危険球	木住 鷹人	車	ナチュラルボーンチキン	金原 ひとみ
鷲	ブラックキャット	松嶋 智左	車	救いたくない命 (俺たちは神じゃない 2)	中山 祐次郎
車	成り上がり式吉札差帖 4 (棄捐令 1)	千野 隆司	車	● 豊臣仁義(三河雑兵心得 14)	井原 忠政
	● 禁忌の子	山口 未桜	車	● 小鳥とリムジン	小川 糸
	音のない理髪店	一色 さゆり	車	● スメラミシング	小川 哲
	無形	井戸川 射子	鷲	不機嫌な青春	壁井 ユカコ
	夜更けより静かな場所	岩井 圭也	鷲	マリアージュ・ブラン	砂村 かいり
	まず良識をみじん切りにします	浅倉 秋成	登	ポップ・フィクション	堂場 瞬一
	遊廓島心中譚	霜月 流	車	● あさ酒	原田 ひ香
	● おとこ川をんな川	唯川 恵	車	太陽の小箱	中條 てい

新 着 図 書 案 内 令和7年1月 No.5

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷺:鷺別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
913 日本の小説			9 その他の文学		
車	旅立つ君におくる物語	藤山 素心		● 私の最後の羊が死んだ	河崎 秋子
	午後の最後の芝生	村上 春樹	鷺	● そらそーや	黒川 博行
	入居条件:隣に住んでる友人と必ず仲良くしてください	寝舟 はやせ		あやふや記憶の本棚	あやふや文庫
	あの日の風を描く	愛野 史香		安部公房 生誕100年	県立神奈川近代文学館
	碧血の碑	赤神 諒		佐藤愛子の孫は今日も振り回される	杉山 桃子
	● 耳に棲むもの	小川 洋子	登	● 思えばたくさん呑んできた	椎名 誠
	蘭医繚乱 洪庵と泰然	海堂 尊		旅のたのしみ	甲斐 みのり
	● 代替伴侶	白石 一文		小説にできること	藤谷 治
	家族	高嶋 哲夫		終わっていない、逃れられない	加島 正浩
	シルバー保育園サンバ!	中澤 日菜子		五木寛之×栗山英樹「対話」の力	五木 寛之 栗山 英樹
	ひとでなし	星野 智幸			
ア	● 地獄の底で見たものは	桂 望実			

「婚活マエストロ」

宮島 未奈 / 著
文藝春秋 / 発行

40歳のこたつ記事ライター・猪名川健人は、どう見ても怪しい零細婚活会社の紹介記事を引き受ける。

地味な婚活パーティーに現れたのは、驚異のカップル成立率を誇り、婚活業界ではなお知らぬ者がいない伝説の司会者・〈婚活マエストロ〉鏡原奈緒子だった。

新感覚の婚活小説。



「私の最後の羊が死んだ」

河崎 秋子 / 著
小学館 / 発行

なぜ羊飼という職業に就き、順調においしい肉を生産していたのにやめる決断をしたのか。

直木賞作家が、最初の1頭を飼ってから最後の1頭の出荷を見届けるまでの「羊飼一代記」、そして「小説家前夜」の日々を綴る。

